

兵庫県住宅促進区域部会 報告資料

新温泉町における子育て支援及び 住環境整備の施策について

令和8年3月23日

新温泉町長 西村 銀三

新温泉町における人口減少の現状と課題

1 人口等の推移 (出典：兵庫の人口の動き)

年	人口 (各年1月1日)	出生	死亡	自然増減	転入	転出	転入－転出
2005 (H17)	17,648	126	213	△ 87	433	559	△126
2010 (H22)	16,264	103	217	△114	303	469	△166
2015 (H27)	14,859	75	248	△173	309	433	△124
2020 (R 2)	13,601	62	253	△191	251	378	△127
2025 (R7)	12,119	33	248	△215	218	365	△147

2 自然増減の課題

- ・ 出生数が減少傾向、死亡数が横ばいで自然減が進行。
- ・ 特に若年層（20～39歳）の女性減少が将来の出生数に影響。

3 社会増減の課題

- ・ 10代後半の転出が顕著で、Uターンが進まない。
- ・ 社会増減の均衡（転入・転出差の縮小）が急務。
- ※ 子育て世帯の鳥取県への転出。特に、隣の岩美町への流出が目立つ。
- ※ 2024年「人口戦略会議」の報告書によると、2050年には本町の若年女性人口は（2020年から）71.8%も減少するとの予測。

4 世帯数の変化

- ・ 単独世帯、核家族世帯が増加。3世代世帯が減少。
- ・ 核家族化の進展が人口減少の背景に。

新温泉町の子育て支援

子育て世代部門では7位（人口一万人以上の町/令和7年度）

■内 容：



子育ての夢がひろがる
しんおんせん

新温泉町は子育てを応援しています！

結婚・新生活

- 婚活イベントなどで
出会いをサポート
- 町内賃貸住宅の家賃を助成
- 婚姻による引越し・住居費用を補助



妊娠・出産

- 不妊治療費の助成
- 不育症検査・治療費の助成
- 妊娠・出産時に応援交付金を支給
- おむつなど育児用品の購入費を助成
- 18歳まで医療費無料



保育

- 3歳児以上の保育料無料
- 3歳児以上のこども園の給食費無料
- こども園の送迎バス無料
- 平成23年度からずっと
待機児童ゼロ



学校生活

- 小中学校の給食費無料
- 小中学校の通学費援助（※条件あり）
- 放課後児童クラブの移動補助
- 町民バス回数券の購入補助



ほかにもいろいろ支援が充実！
詳しくはこちら👉をチェック！

宝島社が発刊する「2026年版第14回住みたい田舎ベストランキング」（人口一万人以上の町：回答自治体103団体）の子育て世代部門では7位に、若者世代・単身者部門では10位に新温泉町が選ばれました。

出生時から学校生活を終えるまで切れ目なく行っている支援の内容を公式ウェブページやSNS、広報紙で広く周知しています。

※詳細は別添「子育ての夢がひろがる新温泉町リーフレット」のとおり

子育ての夢がひろがる 新温泉町としてPR

子育てキャッチフレーズ・ロゴマーク決定（令和7年度）

■内 容：新温泉町では、子育て世代を応援するため、**出生時から学校生活を終えるまで切れ目なく**、さまざまな支援を行っています。子育て支援が充実している新温泉町への愛着向上と、町内外へ「子育て支援充実のまち」としての魅力を発信するきっかけとなり、今後の子育て支援事業に広く活用することができる新温泉町子育てキャッチフレーズ・ロゴマークを募集したところ、県内外から186点の応募をいただき、審査の結果、次のとおり最優秀作品を決定しました。

（キャッチフレーズ・ロゴマーク）



（キャッチフレーズのみ）

子育ての
夢がひろがる
新温泉町

（ロゴマークのみ）



キャッチフレーズ：切れ目のない子育て支援によって子育てへの夢が広がっていく、そんな子育て支援が充実している新温泉町を表現しました。

ロゴマーク：全体のヴィジュアルは、ひらがな「しんおんせん」の「し」＋英文「SHIN-ONSEN」の「O」＋「本町の花：サクラ／ササユリ」＋「子育て中の親子の笑顔」を組み合わせ、幅広く好感を持ちわかりやすくシンプルにデザイン。更なる未来に向けて無限大（∞）に飛躍・発展する『新温泉町』が「子育て支援充実のまち」として、地域の力を繋ぐ存在でありたいと思う姿を強調したロゴマークデザインです。

新温泉町人口減少対策プロジェクトチームの提案

人口減少対策プロジェクトチーム（令和6年度）

■内 容：若手職員10人で構成、計12回開催し、46の意見、23の提案をまとめ、町長へ報告
子育て支援、**住宅施策**、雇用施策、婚活施策（4つの視点）で集約

■予算反映：町長・副町長ヒアリングを経て、令和7年度は**8**項目実施

※**住宅関係の提案は、6件/23件中、令和7年度は、短期施策として2件実施**

- ①**賃貸物件情報の提供 【実施目標/短期（R7）】**
- ②**賃貸住宅を新築する民間事業者に補助 【実施目標/短期（R7）】**
- ③耕作放棄地の宅地化推進 【実施目標/中期】
- ④町営住宅のリニューアル/ 県営住宅の活用 【実施目標/長期】
- ⑤町内民間事業者によるモデルハウス建築 【実施目標/短期】
- ⑥町分譲地の販売 【実施目標/長期】

新温泉町住環境・移住定住対策会議の設置

住環境・移住定住対策会議（令和7年7月14日設置、以降現在まで3回開催）

■内 容：本町では、これまでから、人口減少対策、住環境整備及び移住定住促進などの対策はしているものの、なかなか効果が表れていない。そのため、副町長以下、関係課の管理職及び担当職員で構成する標記の会議を設置し、総合戦略としての施策並びに組織体制などを検討している。副町長、総務課長、企画課長、福祉課長、商工観光課長、建設課長、こども教育課長及び関係課の担当職員により構成し、議題に応じて、上記以外の関係する課長及び担当職員を交えて協議を行う。

役割①：次年度以降に取り組む効果的、合理性のある施策を取りまとめる。

役割②：施策を推進するための組織体制のあり方について具体的に検討し町長に提案する。

■実施状況：第1回（7/14）、第2回（10/29）、第3回（1/19）

①担当課及び財政協議を経て、令和8年度は具体的施策として下記2件を**拡充実施**する。

・**定住促進住宅取得助成事業（商工観光課所管）**

・**民間集合賃貸住宅等建築費補助事業（建設課所管）**

②住宅施策等や都市計画づくりを専門的に行う「○○○○課、○○○○室、○○○○係」等の新設

⇒令和8年度の組織改編で実現

・**子育て世帯への住宅の確保（県と協働し子育て住宅促進区域の設定：令和8～10年度集中実施）**

・**空き家特定調査の即時実施と空き家バンク登録の促進：令和8年度から集中実施など**

令和8年度新温泉町の住環境整備重点施策①

定住促進住宅取得助成事業

- 事業内容：住宅の新築、改修、購入に要した費用の一部を助成
- 対象者：町内在住の満45歳未満の方、転入者（Uターン者）
- 助成額：新築、購入の場合⇒定額50万円（子育て世帯は100万円）
改修の場合⇒工事費の10% 上限50万円（子育て世帯は20% 上限100万円）
- R8年度から**拡充：助成額、上限額の引上げ**
→50万円→**75**万円、100万円→**150**万円
- R8予算額：1,550万円

民間集合賃貸住宅等建築費補助事業

- 補助対象：子育て世帯等向けの民間集合賃貸住宅等の建築に要する経費
※外構工事費、用地取得費、造成費は含まない。
- 補助金額：補助対象経費の1/3
※1戸当たりの上限額：300万円（レディース住宅は400万円）
- 実施期間：令和7～9年度
- R8年度から**拡充：補助上限額の引上げ**
→建築業者へのヒアリング結果を踏まえ、300万円→**400**万円（レディースの400万円→**500**万円）に増額
- R8予算額：5,600万円（**対前年比200%**）

令和8年度新温泉町の住環境整備重点施策②

子育て世帯への住宅の確保①

（県と協働した子育て住宅促進区域の設定）

■ 取組内容案：現在、県の子育て住宅総合支援事業として、阪神間で実施している「子育て住宅促進区域の指定」について、**指定（第3弾）として、ぜひ、但馬での実施をお願いするとともに、まずはモデル市町として「新温泉町」を指定いただきたい。**

子育て世帯への住宅の確保②

（県営住宅の供給・入居促進）

■ 取組内容案：町内にある県営住宅の今後のあり方について、県と新温泉町において、今後、調整会議等の場を設定いただくとともに、**子育て世帯向けの住宅供給に向け、積極的に協議を行わせていただきたい。**

ご清聴ありがとうございました。

引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

新温泉町長 西村 銀三